

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	お酒を楽しむ会開催事業			事業コード	1712
担当課等	所属名	商工観光部 観光課	担当係名		
	課長名	村山悦男	担当者名	佐々木 伸司	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	魅力あふれる物産の振興	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 2目 物産振興事務(010-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 15年度～)					
事務事業の概要	盛岡地域(盛岡税務署管内)の酒造メーカーで生産される酒類の生産地域の同一性などの特徴を活かしたお酒の宣伝及び需要拡大を目指し、年1回「盛岡お酒を楽しむ会」を開催する。また、参加メーカーを紹介するパンフレットを作成し、酒どころ盛岡のイメージアップを図る。					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
市内ホテルの独自事業として開催していた事業を盛岡地域全体の酒類製造メーカーのPRの場として活用するため、関係者等に参加を呼びかけ、実行委員会を設置し、広域的に開催している。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
昨年の参加者を対象としたアンケート調査結果からは、満足したという回答が全体の9割以上と、参加者の好評を得ている事業である。また、日本酒の消費量が近年低迷している中、業界団体・酒類業者からは継続実施を求められている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
このイベントは年々口コミでの参加者が増加し定着化しつつある。より酒どころ盛岡を広くPRし、酒類の消費拡大を図りたい。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	酒造メーカー、市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 酒造メーカー	単位	社
				B. 市民	単位	万人
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 盛岡お酒を楽しむ会開催、酒ロードマップの作成 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 盛岡お酒を楽しむ会開催、酒ロードマップの作成	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 参加者	単位	人
				B. 参加酒造メーカー	単位	社
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	盛岡お酒を楽しむ会の満足度を上げる。 盛岡地域の酒類の生産量を増やす	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 参加者アンケート結果 満足度 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				B. 盛岡税務署管内製成数量 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	kl
				C. 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	特産品が創出され、育成される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	特産品の取扱高(盛岡市特産品振興協議会会員企業)(単位:百万円)		

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: イベントを通じ地元で生成される酒類への興味関心を高めることにより、需要が高まり特産品として育成される。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 業者同士の利害関係を超えて、盛岡(広域)の特産品の販路拡大を進める上で、市が関わることは意義がある。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 酒造メーカー数は限定されている。また、イベント参加者についても盛岡広域が大半であるため現状で妥当である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 当該イベントを継続開催することにより、需要拡大を見込んでいる。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 参加メーカーのメリットを増やす。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 零細な酒造会社にとっては独自でこのようなイベントを開催するのは困難であるが、このイベントは酒造会社が一同に会し300人を越す参加者に自社製品を紹介することが可能であり、各メーカーの知名度の向上、販路拡大に大きく寄与しているため。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現在の事業費は当日の料理代金、参加酒造メーカーの出展補助金(メーカー全体に参加者一人あたり500円)がほとんどで、これ以上の削減は困難。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現在必要最低限の人員配置でおこなっているため、人件費の削減は困難である。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 参加者全員が、すべての酒造会社のブースに参加できるため、受益機会は公平である。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 「おいしい地酒づくり実行委員会」で実施している。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 各メーカーが新種または研究酒を披露する場にする。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 努力できないメーカーが参加を見送る場面が想定される。参加メーカーが新商品提案意欲を持つように(意固地に旧作のみでがんばるのもOK)酒造業界の盛り上がり の場となるようにもっていく。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>平成15年度からの事業である。年々参加者の満足度の向上とともに 認知度が高まっている。</p>		
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>イベントへの参加者の増加に向けた取組と地元種類振興に向けた事業のフォローに努める。</p>		<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			